	日	
	曜日	(大)
	+	665
	支	Des
	九星	
-		

十月 (大) 神無月かみなづき

参宿

(月命丙戌九紫火星の月) (十月八日寒露の節より)

旧 九八 月月 小大

14 日	13日	12日	11日日	10日	9 日	8日	7日	6 日	5 B	4	3日	2日	1日日	日	2
水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	曜日	-
かのえとら	つちのとうし	つちのえ ね	ひのと	ひのえいぬ	きのととり	きのえさる	みづのとひつじ	みづのえうま	かのと	かのえたつ	つちのと、	つちのえとら	ひのとうし	干支)
四緑	五黄	六白	七赤	八白	九紫	一白	二黒	三碧	四四	五	う	七	八	친	3
鉄道の日	和歌山竈山神社祭、日蓮聖人忌、嵐雪忌	口横浜総持寺御征忌会、芭蕉忌、不成就日	が 神戸海神社祭、大津祭	川崎身代り不動尊認知年目の愛護デー、	久留米高良大社例祭、国際文通週間、世界郵	日寒露四時五五分、十方ぐれ入り	長崎くんち(9日)	岩	緑達磨忌	黄 里親デー、不成就日		赤 ○皇六明〇五分 小つち、三隣亡、	型に持つにより、 の日、共同募金、都民の日 の日、共同募金、都民の日	行	(
共	七七	共六	芸	世四	兰	世	世	廿	十九	ナ	十七	丰	士五	旧曆	
大安	佛滅	先負	友引	先勝	赤口	大安	佛滅	先負	友引	先勝	赤口	大安	佛滅	六輝	
さだん	たいら	みっ	のぞく	たっ	とづ	ひらく	ひらく	おさん	なる	あやぶ	やぶる	とる	さだん	中段	
参	觜	畢	昴	胃	婁	奎	壁	室	危	虚	女	牛	斗	共宿	
•	+ L	ぶ く 日	大みゃう	母倉	神よし	大みゃう	•	大みゃう	+ L	百事吉	大みゃう	* :	神よし	下段	-
5. 46 17. 07	5. 46 17. 08	5. 45 17. 10	5. 44 17. 11	5. 43 17. 12	5. 42 17. 14	5. 41 17. 15	5. 41 17. 16	5. 40 17. 18	5. 39 17. 19	5. 38 17. 21	5. 37 17. 22	5. 37 17. 24	5. 36 17. 25	불	
2. 17 15. 51	1. 07 15. 14	0. 00 14. 35	13. 50		22. 00 12. 08	21. 10 11. 12	20. 27 10. 15	19. 49 9. 17	19. 16 8. 20	18. 47 7. 24	18. 20 6. 28	17. 54 5. 33	17. 29 4. 37	見	H
2. 39 15. 41	1. 30 15. 13	14. 43	13. 55 22. 53	11. 30 20. 21	9. 44 19. 46	8. 39 19. 21	7. 51 18. 59	7. 10 18. 39	6. 34 18. 19	6. 00 17. 59	5. 27 17. 40	4. 54 17. 21	4. 22 17. 01	満潮	多希耳
9. 03 21. 45	8. 11 21. 12	7. 05 20. 38	5. 34 19. 45	3. 50 15. 29	2. 42 14. 18	2. 00 13. 48	1. 26	0. 57	0. 28	0.01	11. 46	11. 18	10. 48	王	百のブ
いるためといわれている。	双) みつらここ うご ルー話し合いの中に男女の縁をの神かそこに集まるのは	の神がたこことでのりは、 年のうちでこの月に、全国 特は「縁結ひの神』で、一	きょうな (****) ・ 出雲の神よるものである。 出雲の神氏神不在の月という伝説に	の月に出雲に集まるので、これは、全国の氏神様がこ	月」(旧暦十月)というが、【婚】十月の別称を「神無	には十分注意したい。むことが多く、気温の変化	度がかなり昇り、夜冷え込る。晴れた日は、日中の温	急変することが多いのであように、澄み切った青空が	「女心と秋の空」といわれる、候が続きそうである。また、	心配があり、ぐずついた天 十月になってもまだ台風の	る。また、発達が屋ハギはしい晴天の日が多く見られ	秋の長雨が早く明け、火らいる。例年よりも早ければいる。例年よりも早ければ	23.04 「こ発達するかこかかって」の高気圧が、いつどれほこの月の天候は、大陸方		

31	30	29	28 日	27 日	26 日	25 日	24 日	23 日	22 日	21 日	20 B	19 日	18 日	17 日	16 日	15日
土	金金	日木	水	火	月	日日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木
ひのとひつじ	ひのえ うま	きのとみ	きのえたつ	みづのとう	みづのえとら	かのとうし	かのえね	つちのとる	つちのえいぬ	ひのととり	ひのえ さる	きのとひつじ	きのえ うま	みづのとみ	みづのえたつ	かのとう
五黄	六	七	八	九		=	=	29	五	六	논	八白	九紫	一白	=	三碧
▼○望二三時四九分、世界勤倹デー	白 三隣亡、一粒万倍日	赤十三夜、福岡香椎宮秋季例祭	白 速記記念日	紫 読書週間(11月9日迄)	天理教本部秋季大祭 原子力の日、宮崎神宮例祭、	黒 旧重陽、伊賀上野天神祭、不成就日	碧国連の日	緑霜降八時○○分、電信電話記念日	黄京都鞍馬の火まつり	(白) 宇都宮二荒山神社例祭、一粒万倍日	赤土用七時三八分、えびす講、誓文払い	東京日本橋べったら市 京都建勲神社船岡祭、	東京浅草観音菊供養、一粒万倍日、統計の日、東京靖国神社秋祭、三隣亡、	〒 天一天上、日光東照宮秋祭、不成就日 旧九月小 明四時三一分、貯蓄の日、伊勢神宮神嘗祭、	黑 愛媛新居浜太鼓祭、釜石曳舟祭	岩 新宮熊野速玉大社祭、姫路喧嘩祭、
士五	十四	生	土	十一	十	九	八	セ	六	五	29	Ξ	=	朔	世	廿九
大安	佛滅	先負	友引	先勝	赤口	大安	佛滅	先負	亥引	先勝	赤口	大安	佛滅	先負	先勝	赤口
おさん	なる	あやぶ	やぶる	とる	さだん	たいら	みっ	のぞく	たっ	とづ	ひらく	おさん	なる	あやぶ	やぶる	とる
女	牛	라	箕	尾	23	房	氐	亢	角	軫	翼	張	星	柳	鬼	井
神よし	神よし	神よし	大みゃう		9	+ L	きこ	ぢう日	く ゑ 日	く ゑ 日	くゑ日	大みゃう	くゑ日	くゑ日	大みゃう	くゑ日
6. 02 16. 47	6. 01 16. 48	6. 00 16. 49	5. 59 16. 50	5. 58 16. 51	5. 57 16. 52	5, 56 16, 53	5. 55 16. 55	5. 54 16. 56	5. 54 16. 57	5. 53 16. 58	5. 52 16. 59	5. 51 17. 01	5. 50 17. 02	5. 49 17. 03	5. 48 17. 04	5. 47 17. 06
16. 50 5. 18	16. 24 4. 23	15. 59 3. 27	15. 33 2. 31	15. 06 1. 34	14. 37 0. 35	14. 04	13. 26 23. 34	12. 41 22. 32	11. 47 21. 31	10. 45 20. 33	9. 36 19. 41	8. 23 18. 53	7. 09 18. 12	5. 54 17. 34	4. 41 16. 59	3. 28 16. 25
4. 46 16. 39	4. 12 16. 18	3. 37 15. 57	2. 57 15. 34	2. 03 15. 10	0. 18 14. 41	14. 03	12. 55 21. 05	10. 59 19. 57	9. 27 19. 20	8, 20 18, 51	7. 25 18. 23	6. 35 17. 57	5. 47 17. 30	5. 01 17. 03	4. 16 16. 36	3. 30 16. 09
10. 49 23. 06	10. 18 22. 37	9. 44 22. 08	9. 06 21. 38	8. 22 21. 06	7. 24 20. 31	6. 03 19. 40	4. 21 17. 34	3. 03 15. 19	2.10 14.18	1. 26 13. 38	0. 46 13. 03	0. 08 12. 27	11. 51	11. 13 23. 31	10. 33 22. 55	9. 50 22. 19
制定。	京オリンピックを記念して称変更)。昭和三十九年東	れていま	【***】「スポーソウヨーは、 ◇ 告別式、一般焼香。	◇ 5番板。 ◇ 6番板。 ◇ 7世底矢々化成 条地	◇ 湯灌・納棺の準備及び	◇ 葬儀社への交渉。	◇死亡のことを近親や寺	忌中の半紙を戸口に貼	4.18 ◇ 神棚や仏壇を閉ざし、	◇ 目を閉ざし、手を胸の	(釈迦入滅の姿にならう) ◇ 死者を北枕にする。	うである。	ら、悲しくつらいものであら、悲しくつらいものであ	度はあるものとは印りなが現世と冥界の別れは必ず一	テの大主生であってっ、 たとえそれが眠るような長	【葬】薬石の効なく、また

0)

行

事

●下弦=下弦の月を指す